

高校生アンケートの分析報告

あさぐる！～あさかの未来を考える職員ワーキンググループ～

1. 調査結果から得られたこと、感想

(1) 高校生の住まい

・今回の調査では、市内在住者が2割ほど、市外在住者が8割でした。8割の高校生は市外から朝霞高校、朝霞西高校に通っていることが分かりました。

(2) 朝霞市の魅力、朝霞市の良いと思うところ

- ・「お店が充実している」が最も多く、私たちの予想をしていなかったのが驚きでした。
- ・公園や駅についての意見が多く、公園や駅はまちの印象に大きく影響することが分かりました。
- ・彩夏祭を挙げた意見が多かったことはうれしく思いました。

(3) 朝霞市の課題や悪いところ（不便な点など）

- ・道路・歩道に関する意見が多く、通学路等で不便に感じている高校生が多いことが分かりました。道路・歩道に関する意見の中でも、両校とも「道路・歩道が狭い」が最も多い結果でした。
- ・「遊ぶところがない」が多かったことから、高校生などの若者が集える場所づくりについて話し合いました。

(4) 朝霞市がこうなって欲しい、朝霞市の未来、将来について

- ・「きれいになってほしい」が最も多い回答でした。この結果について、メンバー内では、“ごみのないきれいなまち”という希望と“街並みが整備されたきれいなまち”という希望が合わさっているのではないかと話し合いました。

2. 調査結果から「何をすべきか」を考えたこと

(1) 朝霞市の魅力を再認識する

・今回、高校生は朝霞市の魅力について、店の充実さや、公園、駅についての意見が多く出されました。これらの施設が朝霞市の魅力、まちの印象に大きく影響していることを市は再認識をし、今後のまちづくりや施策に生かす必要があると考えました。公園については、青葉台公園だけでなく、陸上競技場や朝霞の森などの体育施設や広場も含めた意見であると考えられます。

(2) 自転車レーンの整備推進

- ・朝霞市の課題について、道路や歩道が「狭い」という意見が最も多く出されたことから、自

転車レーンの整備推進を考えました。自転車の交通が円滑になるだけでなく、歩道の歩行者の安全にも寄与すると思います。すでに市内で自転車レーンが整備された箇所があることから、アンケートでは、朝霞の魅力について「自転車レーンがある」という意見もありました。

（３）高校生などの若者が集える場所づくり

・朝霞市の課題として「遊ぶところがない」が多かったことについて、高校生が学校以外でお金がかからず、談話できる場所が少ないのではないかと考え、高校生などの若者が集える場所づくりを考えました。候補地としては、市役所地下の食堂を放課後の時間帯に開放してはどうかと話し合いました。

以上